

# 令和7年度 豊川市公園施設等利活用・適正化計画策定委員会

## 第4回策定委員会 議事録

■ 日 時 : 令和7年10月31日(金) 13時30分～14時40分

■ 場 所 : 豊川市役所 議会協議会室

■ 次 第

### 1. 議題

(1) 豊川市公園施設等利活用・適正化計画 素案(資料1)

### 2. その他

・計画策定スケジュール(資料2)

■ 出席者の氏名

#### (1) 委員

氏 名	所 属	役 職	備考
岡 本 肇	中部大学工学部都市建設工学科	准教授	学識
臼 井 直 之	岐阜市立女子短期大学デザイン環境学科	准教授	学識
落 合 利 夫	豊川商工会議所 建設関連部会	部会長	商工業
市 川 勝 久	豊川造園建設共同組合	理事	造園
櫻 井 利 夫	豊川市連区長会	代表	町内会

#### (2) オブザーバー

氏 名	所 属	役 職	備考
森 井 康 裕	愛知県都市・交通局都市基盤部 公園緑地課	主査	オブザーバー
佐 々 渉	愛知県東三河建設事務所都市施設整備課	主任	オブザーバー

#### (3) 事務局

氏 名	所 属	役 職	備考
山 本 英 樹	都市整備部	部長	豊川市
田 中 良 生	都市整備部	次長	豊川市
松 原 太 郎	公園緑地課	課長	豊川市
宇 都 野 友 一	公園緑地課	課長補佐	豊川市
成 瀬 庸 孝	公園緑地課 公園整備係	係長	豊川市
下 平 晟 也	公園緑地課 公園整備係	係員	豊川市

## ■ 議事概要

### 1. 議題

#### (1) 豊川市公園施設等利活用・適正化計画 素案

##### 【資料説明】資料 1

##### 【質疑応答】

委員長

61 ページ以降の各地区の図面については、わかりやすいように「現況」と書き加えた方が良いと思います。

また、図面には誘致圏が反映されていないのですがなぜでしょうか？

事務局

再編方針の各地区の図面に誘致圏を反映すると煩雑になってしまうためです。誘致圏域図は 19 ページに示しています。

委員長

各地区の図面に、「19 ページに記載があり」という注釈をつけると良いと思います。

加えて凡例について、記号の大きさを変えることでより見やすい再編方針図になると思います。

42 ページ (1)基本目標に「持続可能な公園に対して「維持管理コストの縮減」、魅力ある地域の公園に対して「市民満足度の向上」の指標を設定し～」となっていて、はじめに維持管理という後ろ向きの表現があるので、文章の前後を入れ替えることで改善できると思います。

47 ページのタイトルに「個々の公園の再編に向けた評価（1 次評価）」とありますが、方針や考え方が書かれているため、文章の修正をご検討いただければと思います。

48 ページの A～E の指標のうち、E の指標のみ低い値の説明になっているため、他の指標と統一するために修正のご検討をお願いします。

54 ページ 3 段落目の「次ページ以降にモデルケースを示しますが～」から 3 つの例を示しているが、箇条書きか数字をつけるなどして見やすくした方がわかりやすいと思います。

55 から 57 ページについて個別の公園の話は示されているが、地区としての方針が示されていないため、追加することで読みやすくなると思います。また、凡例の記号についてイラストだとわかりにくいと感ずるので、「大・中・小」など直感的に読み取れる表示が良いと思います。

副委員長

この精緻かつ膨大なデータを今後どのように活用して事業を進めていくのかを教えてくださいませんか？

事務局	小学校区の単位で大規模な改修が必要になったときを見計らって活用していきたいと思います。
事務局	今回、とりまとめたアンケートや各種データ等は、地域特性が表れているため、地元のワークショップで検討材料として使っていければと考えています。
副委員長	その考え方に対して賛成です。今回、作成したデータを、次世代の子どもたち等に公開していくことが大事だと思います。拒まずに公開することで、次世代が今後の公園や都市環境を考えるきっかけにできるように活用してもらえたらと思います。
委員	整備の優先順位として問題点が多い地区からなのか、まちなかの地区からなのか、こういった流れで事業を進めていくのかを教えてくださいませんか？
事務局	今後の進め方として、まず地区全体で大きな方針を説明して、そのなかで子どもたちの意見等を得ようと考えています。また、関連する団体と連携しワークショップを実施し、再編計画を作成していきたいと思っています。
委員	皆で連携して進めていける組織をつくっていただければと思います。
委員長	117 ページのプロセスの中で、地元ワークショップは 2 回のみとなっていますが、2 回しか開催しないという意味なのか、2 つのフェーズに分けて行うという意味なのかどちらなのでしょう？
事務局	回数を 2 回と限定しているわけではありません。
委員長	2 回のみで開催と読み取られてしまうおそれがあるため、その点をご留意いただければと思います。
事務局	2 回のみで開催と捉えられてしまわないように修正します。

委員	<p>連区長会の中で公園再編の話は出ていないため、反発意見が出ることを考慮して早めに情報発信をしていただきたいと思います。</p> <p>私自身の実体験として、遊具が暑くて使えず子供が遊具で遊ばなくなってしまうことがあったので、リピートして遊べるような公園づくりができればと思います。</p>
事務局	<p>今後は本計画を公表するパブリックコメントの実施に伴い、地区市民館にも本計画を配布する予定です。</p>
委員	<p>地区市民館はすべての小学校区にあるわけではないため、連区長会へ情報提供をしていただきたいと思います。</p> <p>公園のバリエーションを増やすことにより、公園単位で集まる人が変わってくると思いました。</p>
副委員長	<p>優先順位について、「都市基盤といった土台をつくる」という意味での優先順位とは別に「地域の魅力を高める」ための優先順位を設定したらどうかと思います。土台の方は、本計画の資料で定量的に評価できると思いますが、プラスアルファの部分というのは、なかなか定量的評価ができないところもあると思います。市民活動が活発な団体がたくさん集まっていることや子育て世代が多いなどの定量的に測れない活動を頑張っている人がいても、定量的評価では負けてしまうのがもったいないと感じます。その定量的評価で測れないところの引き上げと公共サービスの公平性を考えて2本立てにするのが良いと思います。</p>
事務局	<p>アンケートにおいて町内単位で公園の活用方法を集計したものがあため、維持管理コストだけではなく、魅力向上の面についても考えながら整備していきたいと思います。</p>
事務局	<p>安定して安全な遊具を提供するという面で優先順位をつけていくとともに、116 ページに市民活動が活発で手を加えることにより公園がさらに良くなったり、民間事業者がいることで行政が資金投入せずとも魅力が上がっていく可能性を秘めていることを位置付けているため、そういった側面でも優先順位をつけながら総合的に判断していきたいと思います。</p>
委員	<p>豊川市内の町内会の加入率は60%未満となっているため、市民への情報は伝わっていないのが現状です。町内会のみを対象とする場合、市民を巻き込むことが難しいと感じます。</p>

事務局	町内会の加入率を上げる努力をしつつ、公園の管理状況が町内によって大きく異なるので、優先順位をつける過程でその点も色濃く出していきたいと考えています。また今後の効果としては、地元住民の愛着がある公園に手を加えるなど、管理状況を踏まえて見ていきたいと思っています。
委員長	117 ページに「地区のうち群単位の町内会を対象」とありますが、町内会はエリアを示しているのでしょうか？組織を示しているのでしょうか？
事務局	組織ではなく、エリアです。
委員長	今、加入率が非常に低く、特に若い人が少ないと考えられますが、若い方はお子様がいらっしゃる方もいるため、その人たちを排除するというイメージを持たれたら良くないと思うので、表現をご検討いただければと思います。
事務局	町内会ではなく、町内に修正します。
オブザーバー	48 ページ ①評価の考え方の「評価が高い公園は公園の利用効果、存在効果が発揮されている公園として現況機能を継続します。」について、公園の存在効果は様々あって評価は難しいと思いますので、今回の指標で評価が高いから存在効果を発揮している公園と言い切れるかは少し疑問があります。この箇所をどう表現するかは市にお任せしますが、一方で9 ページにも記載いただいている通り、公園の効果は利用だけではないので、市民の方にも存在効果がこういったものかを伝えながら進めていただければと思います。
事務局	緑の基本計画においても公園自体は緑があるだけで存在価値があると説明しており、「存在効果の発揮」は書き過ぎていると感じるので、この文言は修正します。

副委員長

存在効果の発揮は少なからずとも効果があつて、その効果が高いのか、低いのかというようなグラデーションになっているということだと思います。また 9 ページ参考「公園の効果」についても公園の存在効果を測るための視点を示しているかと思います。

以前に、公園の利用者にとっては、目的がなくても使えるのが公園の良さという話をしたと思います。先ほど市民に情報が届いてないという話がありましたが、情報が届いていない人でも、安全、安心、豊かな生活を享受することを担保するのが公園のはずです。情報を受け取っていないくとも、この存在効果の視点というのは、なんらかの方法で受け取っているものだと思います。

9 ページにある参考「公園の効果」の図は残した方が良いでしょう。48 ページの「存在効果の発揮」については言い回しを市に考えていただけたらと思います。

委員

公園があることで、子供の育ち方や学業に影響を与える可能性も考えられるため、評価の基準に含めていただけたらと思います。

委員長

今後地域に入りワークショップで議論していく内容になるかと思います。

## (2) 計画策定スケジュール

【資料説明】 資料 2

【質疑応答】

無し

以上